

「認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるように」



平成 23 年 11 月 14 日（月）平成 23 年度介護の日記念フォーラム（会場：パシフィコ横浜会議センター3 階）の中で、横浜市社協 60 周年記念事業リレー講座③として、標記講演会を実施いたしました。

当日は、ケアプラザの所長や職員の皆様にご協力いただき、また、大勢の方にご参加いただきありがとうございました。

当日参加者数 83 名

内容

◇サポーター養成講座

【反町地域ケアプラザ 所長 高根澤恵子】

- ①認知症サポーターとは ②認知症の理解
- ③認知症の診断・治療
- ④認知症の人と接するときの心がまえ
- ⑤認知症介護をしている人の気持ちを理解する

◇介護者の立場から

【公益社団法人 認知症の人と家族の会
神奈川県支部 世話人副代表 小林俊一氏】

◇認知症予防体操

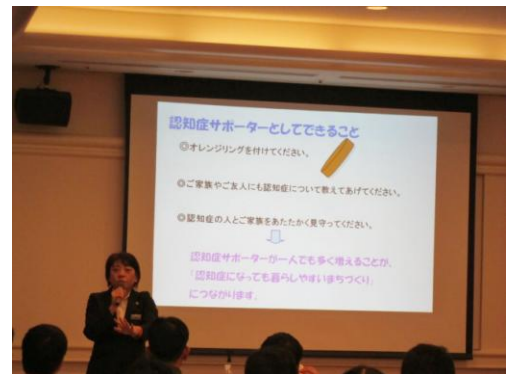
【二ツ橋地域ケアプラザ 所長 讃井恵美子】

◇困った時の相談先（地域ケアプラザの紹介）

【二ツ橋地域ケアプラザ 所長 讃井恵美子】

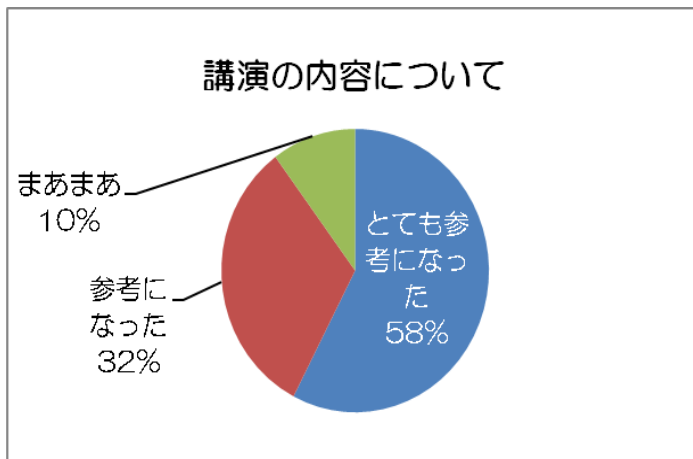
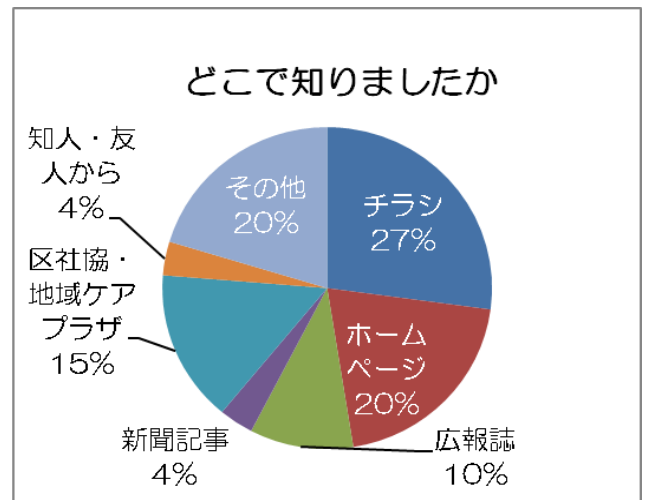
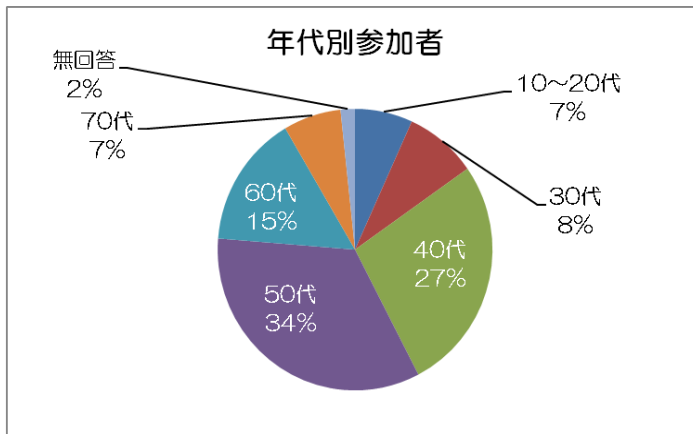
◇まとめ

【社会福祉部地域ケアプラザ等運営支援担当部長 田邊裕子】



アンケート結果より

(有効回答数 59)



【参加者の感想より】

- ◆認知症の方や家族に対する接し方がより深く理解できた。また小林さんの話はとても実感できた。(60代)
- ◆ともすると忘れがちなご家族の気持ちを再認識することができた。(30代)
- ◆テキスト中の相談窓口など一覧になっていて、ガイドブックとして説明できる。(40代)
- ◆大学で福祉について学んでいて、来年から介護職に就きます。認知症の祖父を理解するためにこの講演に参加しました。大変わかりやすく勉強になる話でした。(10~20代)